

平成25年度 第2回 成田市精神保健福祉推進協議会 会議録

1 開催日時 平成25年11月8日（金）

2 開催場所 成田市赤坂1丁目3-1 成田市保健福祉館 団体活動室

3 出席者

（委員） 佐藤会長，大根田委員，太田委員，山崎委員，橋本委員，青木委員，佐久間委員，宇野委員，石田委員

（委任状） 岡井委員

（幹事） 星野幹事，潁川幹事，徐幹事，山田幹事，北村幹事，宮野幹事

（事務局） 金崎部長，神山課長，多田係長，谷下田主査，楠野主任主事、

4 議事（要旨）

○議案第1号 平成25年度上半期事業経過報告について

委員：メンタルヘルスフェアの参加者からの質問はどうだったか。また県の「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」に倣って成田市でも条例を策定するなどの動きがあるのか。

事務局：条例を成田でも希望する声、女性職場での男性の働き辛さから相互の理解を求める意見があった。条例については国の差別解消法の制定もあり、国の動向を踏まえて検討していきたい。市町村でも策定しているところもある。今後策定の際には当事者にもご協力いただくことを考えたい。

委員：精神保健福祉フォーラムの参加者にはヘルパーが多く、業務終了後の参加のために開始に間に合わない人も多く見られた。開催時間の検討は必要ではないか。

事務局：18時半に開催したが、遅れても入りたい人が多かった。夜間の開催であり、講師や会場の問題もある。

○議案2号 平成26年度事業計画（案）について：承認

委員：さまざまな活動を行っているが、家族会としては現実の問題に対応できるような活動も期待したい。

社会資源整備検討部会については細やかな問題に対する検討をしたい。

○議案第3号 成田市精神保健福祉の現状について

委員：入院患者の手帳所持についてはどのようになっているか。長期入院者は持っていない者が多いのか。

事務局：福祉サービスの対象にならないことから更新しない者もいる。また、生活保護の障がい者加算の関係で更新する者もあり、事情により異なる。

委員：資料は精神疾患により入院している患者数だけだが、精神疾患を持つ者の数は

出せるか。現実に近い把握はできないか。家族会の参加者は情報が得られやすいが、家族会の参加者は手帳所持者のごくわずかである。そのほかの精神疾患に悩む者に情報が届いているかが疑問である。プライバシーの問題もあるが、現状の把握について考えていただきたい。

委員：成田市の場合は手帳取得すると他市町村と比べて手当の対象が広いなどメリットがあるため、申請者は多いことが推測される。入院患者数は全国的な指標の一つではある。

委員：地域で暮らす精神障がい者を示す指標はない。

委員：独居高齢者の見守りについては地域で助け合うことが始まっている。親が亡くなった後の障がい者への支援も同様に考えていただきたい。

委員：地域については民生委員が活動しているが、把握した時に個人情報の守秘義務はどうなっているのか。

事務局：個人情報の問題もあり、本人から依頼されれば言えないこともあるのではないかな。

委員：民生委員から病院に、情報を知らせてほしいとの依頼があることもある。

委員：民生委員に気になる人に渡すサービスなどのパンフレットがあるとよいと思う。

事務局：今年度は民生委員の改選時期でもあり、新規者も増えるため3月の精神保健セミナーに精神障がいについて学ぶ機会を企画してもよいのではと考えている。

委員：精神障がいで生活保護を希望する相談が民生委員に増えていると感じている。

委員：3級までの福祉手当は成田市のみでありがたいが、今後財政の厳しくなる中削減の予定はあるか？

事務局：現在のところ変更の予定はない。

○その他

事務局：社会福祉協議会主催のピア・サポーター、ピアスタッフの養成講座開催に当たり講演会の実施について説明。

家族会：26年3月21日にもりんぴあこうづでイタリアの精神保健改革に関する映画の上映会を開催する予定。地域への精神障がいに関する理解を深めたいので精神保健福祉協議会として後援を依頼したい。社会福祉協議会にも後援依頼予定。精神保健福祉推進協議会として後援を承認する。

5 傍聴者 1名

6 次回開催予定 平成26年 5月